


接着系アンカー(有機系・打込み型・ガラス管式)

認証取得者	ユニカ株式会社	
所在地	〒101-0032 東京都千代田区岩本町 2-10-16	
連絡先	Tel:03-3864-8711 Fax:03-3864-7746	
商品名	レジンA HC-Uタイプ	
接着剤の材質	ビニルエステル樹脂	
認証種類	タイプ C	
認証番号	第19-0006号	
認証有効期間	2019年9月1日～2024年8月31日	

別添資料

【カプセル容器の形状、寸法、許容差】

品番	カプセル径 [mm]	カプセル長 [mm]	樹脂量 [g]	アンカー筋	ドリル径 [mm]		穿孔深さ [mm]		
					径	許容差	穿孔深さ	許容差	
HC-10U	10.8±0.4	95±2.5	2.5+0.25	M10	12	0 +0.3	95	±3	
				D10	12.5				
HC-12U	13.7±0.4	110±4.5	4.7+0.47	M12	15	0 +0.3	110		
				D13	16				
HC-16U	16.8±0.5	125±4.5	8.6+0.86	M16	19	0 +0.4	140		±5
				D16	20				
HC-20U	21.5±0.6	175±4.5	20.3+2.03	M20	25	0 +0.4	180		
				D19	25				

【アンカー筋の強度、ねじの等級】

1. アンカー筋の引張強さ、規格降伏点、伸び率

材質記号	規格番号	引張強さ N/mm ²	規格降伏点 N/mm ²		伸び率 %	
			鋼材の厚さ (mm)		棒鋼の径 (mm)	
			16 以下	16~40	25 以下	25 以上
SS400	JIS G3101	400~510	245 以上	235 以上	20 以上	24 以上
SUS304	JIS G4303	520 以上	205 以上		40 以上	
SNB7	JIS G4107	860 以上	725 以上		16 以上	
SCM435	JIS G4105	930 以上	785 以上		15 以上	
SD295A	JIS G3112	440~600	295 以上		16 以上	18 以上
SD345	JIS G3112	490 以上	345~440		18 以上	20 以上

接着系アンカー(有機系・打込み型・ガラス管式)

認証内容

構 成 部 品	項目 1	カプセル容器	材 質	ガラス			
			形 状	別添資料による。			
			寸法・許容差	別添資料による。			
	項目 2	接着剤の材質	主材	ビニルエステル樹脂	硬化材	過酸化ベンゾイル	骨材
接着剤の強度		$\tau_{fu} \geq 10\sqrt{\sigma_B/21}$ (N/mm ²) に対して、95%以上の信頼性を有している。 [記号] τ_{fu} : 付着強度計算値 (N/mm ²)、 σ_B : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm ²)					
項目 5	アンカー筋の材質	(例)メートル並目ねじ: SS400 異形棒鋼: SD295A (D10~D16) 及び SD345 (D19)					
	アンカー筋の表面処理	アンカー筋に防食が必要な場合は、表面処理を施す。表面処理は、原則としてクロメートめっき、亜鉛めっき、エポキシ塗装鉄筋とする。					
製 品	項目 7	ドリル径と許容差	別添資料による。				
	項目 8	穿孔深さと許容差	別添資料による。				
	項目 10	設計基準強度の範囲	18 N/mm ² 以上、36 N/mm ² 以下				
	項目 11	環境条件 (固着後)	外気温 -5°C 以上、80°C 以下とする。				
	項目 12	引張耐力算定式	破壊形式に応じて適用する式(1) から式(3) に対して 95%以上の信頼性を有している。 $T_{\infty} = 0.23\sqrt{\sigma_B \cdot A_c}$ …式(1)、 $T_{cb} = \tau_a \cdot \pi \cdot d_a \cdot l_e$ …式(2)、 $T_{tu} = \sigma_u \cdot a_0$ …式(3) 「記号」 T_{∞} : コーン破壊したアンカーの引張耐力計算値 (N) σ_B : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm ²) A_c : コーン状破壊面の有効水平投影面積 (mm ²) (= $\pi \cdot l_e \cdot (l_e + d_a)$) T_{cb} : 付着破壊したアンカーの引張耐力計算値 (N) τ_a : 付着強度 (N/mm ²) で、次式による。 (= $10\sqrt{\sigma_B/21}$) l_e : アンカー筋の有効埋込み深さ (mm) (= $L - d_a$) L : アンカー筋の埋込み深さ (mm)、 d_a : アンカー筋の外径 (mm) T_{tu} : アンカー筋が破断したアンカーの引張耐力計算値 (N) σ_u : アンカー筋の素材の材料強度 (N/mm ²) (= $1.1\sigma_y$) σ_y : アンカー筋の規格降伏点 (N/mm ²) a_0 : アンカー筋の最小断面積 (mm ²)				
			項目 14	せん断耐力算定式	次式に対して、95%以上の信頼性を有している。 $Q_{mc} \geq 0.4\sqrt{E_c \cdot \sigma_B} \cdot s_a a_0$ ただし、 $500 \leq \sqrt{E_c \cdot \sigma_B} \leq 900$ (N/mm ²) $Q_{tu} \geq (\sigma_u / \sqrt{3}) \cdot s_a a_0$ [記号] Q_{mc} : 母材コンクリートの支圧破壊により定まるあと施工アンカーのせん断耐力計算値 (N) E_c : 母材コンクリートのヤング係数 (N/mm ²) σ_B : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm ²) $s_a a_0$: アンカー筋の最小断面積 (mm ²) Q_{tu} : アンカー筋のせん断破壊により定まるせん断耐力計算値 (N) σ_u : アンカー筋の素材の規格引張り強さ (N/mm ²)		

[注] 項目1～15は、評価認証審査項目を示す。